

東近江市西堀榮三郎記念探検の殿堂

# 今西錦司 生誕120周年記念

今西錦司をひも解く三つの△（さんかく）



# 展

さんかくてん



2022  
**4.20**水 - **3.31**金  
2023

【開催場所】西堀榮三郎記念探検の殿堂 1階ミニ企画展コーナー

【入館料】大人300円 小・中学生150円

東近江市民、障がい者および、その引率者は無料

20名以上は団体割引（大人250円、小・中学生120円）

【会期中の休館日】月・火曜日、国民の祝日、年末年始

※5月3日（火）、4日（木）、5日（金）は特別開館します。

【主催】東近江市 西堀榮三郎記念探検の殿堂

【協力】

河村皆子（今西錦司・次女）、小倉拓郎、浅野悟史、水野敏明、  
岩坪五郎、栗田靖之、上田 豊、鈴木啓助（大町山岳博物館館長）、大槻雅弘、高橋順之（伊吹山文化資料館）  
京都大学学士山岳会、北山の会、（敬称略・順不同）

EXPLORER MUSEUM  
MINORU HIRAYAMA MEMORIAL

POWER CITY  
東近江  
HIGASHIOMIYA

# 今西錦司にせまる三つの△(さんかく)!?

今西錦司は、2022年1月6日に生誕120年を迎えました。

探検家・今西錦司の人生は中学生時代、京都にある北山の三角点(※)を踏破することから始まりました。彼は幼いころからリーダーとしての頭角をあらわし、登山や探検のために多くの団体を立ち上げ、組織のトップとして采配をふるいました。そんな今西錦司の傍らで親友として彼を補佐したのが西堀榮三郎です。西堀は今西を、生涯、リーダーとして尊敬しました。

今回の記念展では3つの△(さんかく)をテーマにし、今西らの登山やスキーをはじめ、リーダーシップやチームワーク作りについて探ります。

※三角点…山の頂上付近や見晴らしのよいところに設置され、経度、緯度、標高を正確に求めるために設置されるもの。



組織のトップ  
今西錦司!

## 【開催スケジュール】

### 第一部

**カリスマリーダー今西錦司**  
2022.4.20(水) からスタート

日本画家・下川辰彦による今西錦司の肖像画をごらんいただけます。絵画鑑賞をとおして、今西錦司がどんな人間だったのかを探ってみましょう!



絵画鑑賞?



### 第二部

さんかく  
**「三角」点を踏む**  
8月17日(水) 開始予定



展示関連イベント 今西錦司の地図の美学…  
**「地図の愛し方、教えます!」**  
9月24日(土) 開催予定  
講師: 小倉拓郎氏 (筑波大学生命環境系・助教)



今西と西堀らが山登りを始めたのは、「わらじ」と「脚絆(きゃはん)」履きの時代から、ピッケルやアイゼンなどの近代的な道具を用いて、より難度の高い山に挑戦する近代アルピニズムへの過渡期でした。彼らが登った鈴鹿の山々や当時の登山・スキー事情を紹介します。

### 第三部

さんかく  
**みんなで「参画」する**  
12月開始予定



必動く人  
必見?

強烈なリーダーシップで山の組織を指揮した今西錦司に対し、補佐役として力を発揮したのが西堀榮三郎でした。今西をサポートして動くことが多かった西堀自身は技術の分野でどんなリーダーに成長し、チームワークを重視したのでしょうか。



いまにし きんじ  
**今西錦司** 1902年(明治35年)1月6日 - 1992年(平成4年)6月15日

『思ひ出すと忘れぬ人』(桑原武夫)

彼は人生においてリーダー以外のものになったことはない。

※新型コロナウイルス感染症拡大等により、企画展及びイベントの中止または延期変更する場合があります。

## 東近江市西堀榮三郎記念探検の殿堂

【住所】527-0135 滋賀県東近江市横溝町419番地  
【開館時間】10:00から18:00まで(入館は17:30まで)  
【メール】tanken@city.higashiomi.lg.jp  
【TEL】0749-45-0011【IP】050-5802-2291  
【FAX】0749-45-3556

公式サイト

